



2024年11月14日

各 位

会社名 monoAI technology 株式会社
(東証グロース・コード 5240)

代表者名 代表取締役社長 本城 嘉太郎

問合せ先 執行役員 コーポレート部長 松岡 壮

電話番号 03-6273-2753 (代表)

2024年12月期の通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2024年12月期の業績予想値の修正 (2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業損失 (△)	経常損失 (△)	親会社株主に 帰属する当期 純損失 (△)	1株当たり 当期純損失 (△)
前回発表予想 (A)	百万円 1,636	百万円 △40	百万円 △41	百万円 △226	円 銭 △21.63
今回発表予想 (B)	1,706	△256	△261	△559	△45.60
増減額 (B-A)	+69	△216	△219	△333	-
増減率 (%)	+4.3	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	1,244	△174	△167	△203	△19.80

(2) 修正の理由

売上高につきましては、連結全体としては前回発表の業績予想を達成する見込みとなりました。なお、2024年2月14日に開示した「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」にて開示した各サービスの内訳は以下の通りの見込みです。(メタバースサービス：売上予想 615 百万円→見込み 1,004 百万円、XR イベントサービス：売上予想 301 百万円→見込み 204 百万円、XR 周辺サービス：売上予想 719 百万円→見込み 497 百万円)

売上総利益段階におきましては、メタバースサービスの売上高が予想を上回って着地したものの外注比率が増加したために粗利率が低下したこと、収益性の高い XR イベントサービスの既存取引先からの受注減や新規顧客開拓の計画遅延による収益獲得が当初の見込み通りにできなかったこと、また、XR 周辺サービスの連結子会社においても、既存取引先からの受注減や新規顧客開拓遅延による収益獲得ができず売上総利益の獲得も未達であったことにより、約 150 百万円の減益見込みとなっております。

また、販売費及び一般管理費に計上される給与手当において、当初の段階では、売上原価内に含まれる製造労務費としての計上を見込んでおりました一部が、有給取得などの非原価工数処理などにより販管費区分に振替計上処理され、これに伴い、売上原価内の製造労務費は減少しました。また、研究開発費としての計上を見込んでおりました一部が、給与手当として振替計上されたことにより、当初の予算段階より給与手当が約 64 百万円増加し、研究開発費が約 16 百万円減少する見込みとなりました。

なお、上記製造原価の振替を含まない、給与手当の当初からの増加額としては、人員増を要因として約 16 百万円の増加見込みとなっております

この人件費等の増加が主な要因として、販売費及び一般管理費が約 60 百万円増加する見込みとなったことにより、営業利益段階及び経常利益段階で減益の見込みとなっております。

また、第 4 四半期連結会計期間において、特別損失に、固定資産の減損損失として約 110 百万円を計上する見込みのため、親会社株主に帰属する当期純利益段階では、減益の見込みとなっております。なお、本固定資産の減損につきましては、金額等が確定し次第、詳細な開示を行う予定であります。

以 上